

4月に向けて

代表取締役 三田雅憲

いよいよ4月には新しい事業年度が始まります。今期は4名の新入社員が晴れて入社をされます。本命でこられる方、当社に合格したので入社された方、いろいろなバックグラウンドがありますが、ご縁で来られる新しい仲間です。社員皆様も大切にお付き合い願いたく思います。今月は社会人と学生の違いを、AIを活用しながら論じてみたいと思います。

①立場と役割の違い

学生は学校に学費を支払い、学問知識や学ぶスキルを習得する立場にあります。学校は学生の知識や学び方の成長を支援し、その環境を整え、失敗することも学びの機会として許容しています。一方で社会人は、プロとして企業組織の一員として労働力を提供し、成果や労働に応じた報酬を得る「価値を提供する立場」にあります。社会人は自分の仕事が社会の役に立ち、必要とされ、更にそこには価値があること、また社会の他者から認知される必要があります。

②責任と評価

学生は出席やテストやレポートでの成績など、比較的明確な評価基準に基づいて評価され、借りに失敗してもその個人や家族の範囲で責任が限定されます。社会人になると、会社の看板を背負って仕事を行うために、問題が発生した場合には個人というより会社や社員全体の責任になります。また、納期や品質、約束を守ることが社会での信頼に直結するために、その評価に関してもプロセス以上に実績や結果に対して評価されることとなります。

③時間管理と生活スタイル

学生はアルバイトや仕送りが主な収入源です。その中では自由にお金を使用できます。社会人は基本的に会社から支払われる給与が収入源ですが、所得税や住民税、社会保険料、家賃や生活費だけでなくその中で貯蓄や投資、将来設計(結婚資金や子育て資金)も考えねばならなくなります。学生より収入が増える一方で、責任や支出も増える点が大きく違います。

④人間関係

学生は同級生や地域の友人などが交友関係の中心となりますが、社会人は職場での同期や同僚、上司などとの関係が重要となります。仕事上の人間関係においては協力や調整、思いやりや感謝の気持ち、信用や信頼感、コミュニケーション能力などが求められ、好ききらいだけでは判断できない難しい感情が必要となってきます。

⑤学びの姿勢

学生は学問知識や学ぶスキルを吸収し、それをうまくアウトプットすることを求められますが、社会人は知識を増やすだけでなく同僚・先輩やお客様、その他、取り巻く様々な人から学び、実務に活かし、仕事上の問題点や業務改善また、新しい方法を生み出したりする姿勢がとても大切です。社会人である間は、いつまでも学ぶ姿勢を持ち続け、かつ学びの目的が自己成長、自己実現だけでなく後輩の育成や大きな意味で、社会貢献に繋がり、新しい技術やサービスを創造するところまで求められます。

⑥むすび

社会人は「働くこと」を通じて「社会に価値を提供し続けること」が大切であります。これは社会に貢献し関わるコミュニティーを幸せにすることでもあります。それを成し遂げるために、責任感や信用・信頼感・友好な人間関係や適切な金銭感覚そして、絶え間ない学びの姿勢、相手の立場を尊重し考え、人に感謝する気持ちなどを学び続けることが社会人としてとても大切であります。社会人人生の40年で以上の6項目が出来上がればよいのではないのでしょうか。